

桑井リオへ準備着々

札幌・バーバリアンズ定山溪グラウンドで大会前の練習に汗を流す桑井亜乃。自慢の突破力でトライを目指す



ラグビー女子日本代表札幌合宿

【札幌】ブラジル・リオデジャネイロ五輪に出場する7人制ラグビーの女子日本代表選手団（サクラセブンズ）が5日、札幌市の定山溪で行っている合宿を報道陣に公開した。8月6日の五輪初戦まで1カ月。幕別町出身の桑井亜乃（テルカヌ熊谷一立正大学院、中京大、帯農高、幕別中、幕別小出）は「地元でリラックスしながら良い調整ができています。リオでは5トライ以上を決めたい」とチームが掲げる金メダルの目標へ、自慢の突破力にさらに磨きをかけることを誓った。

（松村智裕、折原徹也）

「5トライ以上決めたい」

体脂肪率15%

女子日本代表は6月30日に定山溪入り。バーバリアンズ定山溪グラウンドを拠点に7月20日まで合宿を行う。5日前の屋外練習では、北海道バーバリアンズの選手らを相手に試合を想定した攻守の動きを確認した。桑井は疲労などを考慮したコンディショニング調整のため別メニューに。パス交換やランニングなどで汗を流した。

桑井は1月からの半年間で約5kg減量。体脂肪率を15%ほどにし、パワーを落とさず走れる体に仕上げた。「ワールドシリーズで世界の強豪と戦ってきたことで自分もチームも成長している」との実感がある。「私の強みは突破力とセットプレー。残り30日間で細かくトレーニングし、相手にタックルされても1本でも多くトライを決めたい」と意気込む。

過酷な4部練習

合宿は1日で最大4部練習まであり、「金メダル以外はいらないという気持ち。追い込んできりぎりまで成長したい」と中村知春主将。浅見敏子ヘッドコーチは「女子ラグビー初の五輪でいい結果を示すため、最後まで泥くさく戦いた

ストレッチで入念に調整する桑井亜乃（右から2人目）ら



い」とし、桑井については「細かくつなぐチームの中でダイナミックに動き、インパクトのあるプレーをしてほしい」と期待を寄せている。

12日壮行会

桑井は12日午後4時半から幕別町百年記念ホールで開かれる町出身五輪選手3人を応援する壮行会（実行委主催）に参加する。3大会連続で五輪に出場する陸上女子短距離の福島千里（北海道ハイテクAC）帯南商高、幕別糠内中、糠内小出、同じく3大会連続出場の前年男子の山本幸平（T R E K F A C T O

8月7日に初戦

リオ五輪ではC組の日本は8月6日午後0時半（日本時間7日午前0時半）にカナダと初戦。同日に英国と戦う。大会は12チームが3組に分かれ、各組の上位2チームと3位の2チームが準々決勝に進む。